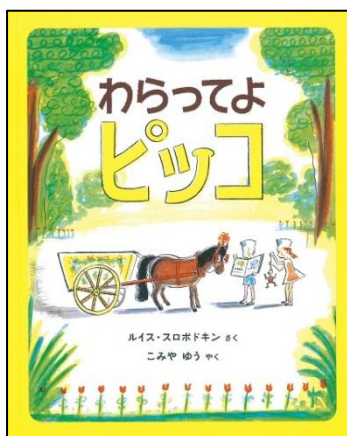




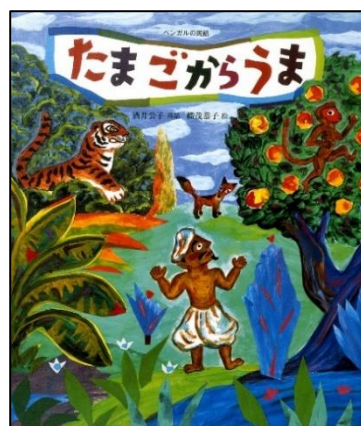
『こうまくん』 **Pキ**  
きくち ちき／作  
大日本図書 2016



『ぱかぼこはしろ!』 **Pス**  
ニコラ・スミー／さく  
せな あいこ／やく 評論社 2008



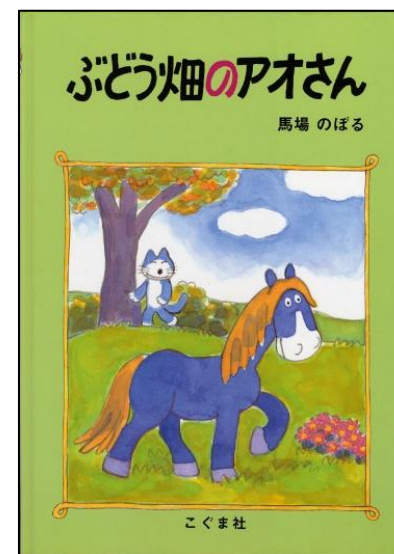
『わらってよピッコ』 **Pス**  
ルイス・スロボドキン／さく  
こみや ゆう／やく 福音館書店  
2022



『たまごからうま』 **388.25**  
酒井 公子／再話 織茂 恭子／絵  
偕成社 2003

ねん 2026年は うま年! / どし

# 馬の本



『ぶどう畑のアオさん』 **Pハ**  
馬場 のぼる／文・絵 こぐま社 2001



としょかん ほん ぶんや  
★図書館の本は、分野ごとにになっています。

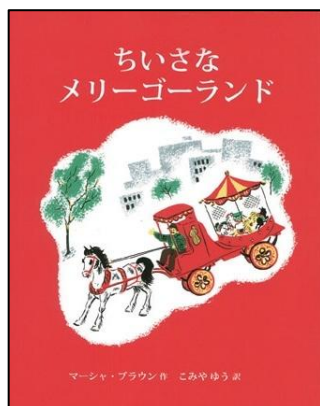
ぶんや ばしよ  
それぞれの分野の場所をさがしてね!

れい 例) **480**⇒いきもの **P**⇒えほん

えほん え か ひと なまえ じゅん ほん  
※絵本は絵を描いた人の名前のあいうえお順で本だにならんでいます。

れい やまむら こうじ え うちだ りんたろう ぶん  
例) 山村 浩二／絵 内田 麟太郎／文 ⇒ **P/ヤ**

「ヤ」のたなをさがしてね! (本に貼ってあるラベルは **ヤ** です)

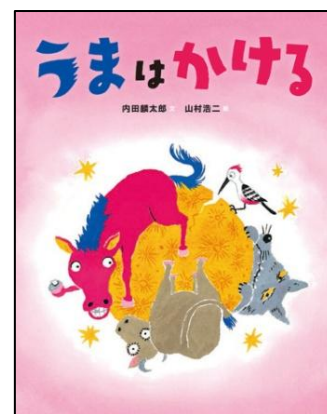


『ちいさなメリーゴーランド』P フ

マーシャ・ブラウン／作

こみや ゆう／訳 瑞雲舎 2015

アンソニーがそとをながめていると、いどうしきメリーゴーランドがゆかいなおんがくをながしながら、うまにひかれてやってきました。「ぼくものりたいな」とワクワクします。

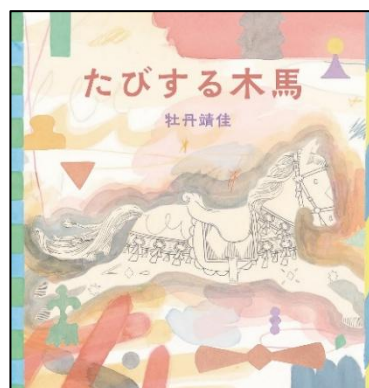


『うまはかける』P ヤ

内田 麟太郎／文 山村 浩二／絵

文溪堂 2018

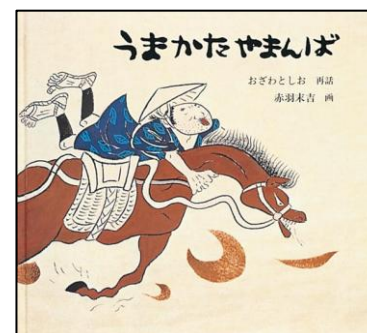
かけっこの「かける」からはじまり、おんがくを「かける」まで、いろいろないみの「かける」がでてくるえほんです。「かける」にあわせて へんかする うまのひょうじょうにも ちゅうもくしてください。



『たびする木馬』P ホ

牡丹 靖佳／作 アリス館 2022

ずっととおいくにで うまれたもくば。そのなは「ブラン」。なづけてくれたおとこのこと たのしいじかんをすごしますが、わかれがやってきました。さあ、ブラン、しゅっぱつです。

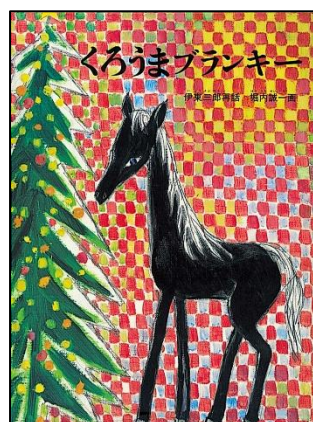


『うまかたやまんば』388.1

おざわ としお／再話 赤羽 末吉／画

福音館書店 1988

うまかたは さかなをうまにのせ、やまみちを あるいていました。ひがくるとやまんばがでてきました。やまんばからにげたうまかたは、いえをみつけました。ところが、そこはやまんばのいえでした。



『くろうまブランキー』P ホ

伊東 三郎／再話 堀内 誠一／画

福音館書店 2007

うまのブランキーは、いじわるなしゅじんのところで はたらいていました。ある日、しゅじんにたたかれてたおれてしまいました。ブランキーのもとへそらからやってきたのは…。



『ウマがうんこした』489

福田 幸広／しゃしん ゆうき えつこ／ぶん

そうえん社 2014

ウマはたくさんうんこをします。じぶんで くさがたべられないあかちゃんはおかあさんのうんこをたべます。たくさんのしゃしんで ウマのうんこのたいせつさがわかるほんです。